

クレアール心理職合格者座談会（2009/10/10）

（※司会＝土井原先生です。名前は敬称略で表記しています。）

- 合格者Mさん：国家Ⅰ種（人間科学Ⅰ）法務省内定、家庭裁判所調査官補Ⅰ種
- 合格者Tさん：法務教官試験合格
- 合格者Wさん：国家Ⅰ種（人間科学Ⅰ）法務省内定、家庭裁判所調査官補Ⅰ種

司 会：まずはMさん。最終的に就職先は国家Ⅰ種の方ですね。国家Ⅰ種の法務省の矯正局で就職の内定をもらっています。ほかに家裁調査官補Ⅰ種最終合格と東京都Ⅰ類心理職の一次に合格なさっています。次にTさん。法務教官に合格し、管区面接が終わった・・・ところですね。法務教官のほうで就職を決められるとのこと。最後に、Wさん。国家Ⅰ種（人間科学Ⅰ）でもらった内定は辞退し、家裁調査官補Ⅰ種の方で就職を決定されています。本日は、以上3名の合格者を招いて、心理職の合格者アドバイス会を始めさせていただきます。堅苦しいインタビュー形式ではなく、受験生の方も自由に質問参加していただく形式で行いますので、遠慮なく、聞きたい事をずばり聞いてください。とりあえず自己紹介を、軽く・・・。Mさんから。おねがいたします。

合格者M：ちょっと緊張しますね。この形式はすごく緊張するんですけど、紹介していただいたMです。大学院生で、10月から試験の勉強を始めて、結構遅いんですけど、10月からですね。公務員試験ちょっと頑張らせていただきました。何か聞きたいことがあれば聞いてください。答えられる範囲でお答えします。

司 会：はい、ありがとうございます。ではTさん。

合格者T：はい、Tです。今大学4年で、大学3年の春からクレアールに入って勉強しました。参考になるかわかりませんが、できる限り答えていきたいと思いますので、宜しくお願いします。

合格者W：Wと申します。私も今大学院の2年生で、私はここクレアールは、Dプラス通信で、主に通信講座で勉強を進めていました。何か参考になることがあれば、お答えできる範囲でお答えしたいと思いますので、お聞きください。

司 会：受験生Aさんから質問は？聞きたいこといっぱいあると思いますが・・・

受験生A：はい、心理学の専門の勉強と教養の勉強をどのくらいの割合で進めていったらいいのかとか、なんかわかんなくて、ちょっとどっちもなんかもう、ちょっとずつ手を出してはなんかっていう感じなんですけど、どんなふうに勉強されてたんですか？訊きたいです。

司 会：では、合格者Mさん。お願いします。

合格者M：あ、はい。私は大学院生だったので、院の試験がもともとあって、っていうのであんまり参考になるかちょっとわからないんですけど、だから結構教養は自信があったかなっていう感じなんですけど・・・時期によるかなと思っていて、とりあえず、私は年内に数的はちょっとできるようになりたいなと思っていたので、それを目標にして、心理学もやっていたんですけど、大きい目標は数的処理っていう感じだったんですけど・・・。

司 会：合格者Mさんは10月に入校されたんですよね？

合格者M：そうです。私は10月スタートなので、ちょっともう結構キツキツな感じで、(あなたが)どのくらい勉強されてるのかって言うのがわからないのでちょっとあれなんですけど・・・

司 会：彼女はかなり(勉強)しています。

受験生A：いえいえ、やってないです。

司 会：ちなみに、Aさんは春入校です。

合格者M：春から入っているとまた違うのかも知れないんですけど、なんかとりあえずこの時期までにこれができるようになっていようとかそういう目標があればそれをまずこなすっていうので、それが一番の目標になってくるからその次の目標として心理学みたいになってくるかなって思うんですけど、でもやっぱり年内には、あの、心理学の基本のところは一応はしっかりはしておいたほうがいいのかなって感じはしていて・・・その二大目標で、年内がんばろうかなっていう感じだったかな。年が明けてから、応用問題も、なんかもっと長い文章書く問題とか、それだけでカバーできない心理の問題とかやったりとか、でも数的はそのまま実力維持みたいな感じでやって、あとは骨がおれるのが小論文で、小論文はちょっと骨が折れるので、それも年内やってたかなっていうか感じで、一問しか出ないような日本史とかああいうのは本当に直前にしかやってないと思います。

司 会：では次にTさん。Tさんは比較的ライブ講義受けてましたよね？

合格者T：はい。

司会：どんなペースで勉強してましたか？

合格者T：そうですね。大学に通いながらだったので放課後こちらに来て勉強っていう感じで、週3くらいでDVD見たり、予備校の授業ライブ出たりで、週3バイトとかしてたりとかっていう感じで、そういうペースで勉強してました。でもちょっと、夏休み前くらいまではあんまり勉強もちゃんと手をつけられてない状態で、ライブのほうも出られなかったので、秋くらいまでに、夏休みを使ってたまってるDVDの処理、処理というか見て勉強しながらっていう感じでした。

司 会：今くらいの時期(秋)で一番力を入れていた科目って？

合格者T : 私は法学部だったので、心理学が本当にはじめてで、ほかの一緒にやってる人たちは心理学科とかで基本的なところはできてるかなって感じだったんですけど、私はまったく初学者だったので、その・・・いただいたテキスト見たり、辞書とか自分で買って何冊か本読みながらって感じで勉強しました。

司 会 : Wさんは遠方から来られているということで・・・土日を使ってDVDで？どんな感じで勉強されましたか？

合格者W : そうですね。私は平日は大学院でいっぱいだったんで、土日にあの・・・

司 会 : 土日に、水道橋本校舎のDVDブースで？

合格者W : はい、DVDのブースにこもって、朝から晩まで一日3本早送りをして見るって形で土日にまとめてこなすって感じだったんですけど、主に私は数学関係が苦手だったので、数的処理を最初にやるのとあと世の中のことが自分によくわかっていなかったんで、人文科学？・・・社会科学！を最初に・・・はい、やりました。

司 会 : 苦手科目ってありました？

合格者W : 苦手科目は、理系科目全般、苦手で・・・

司 会 : 教養試験ってどのくらいとれました？

合格者W : どの試験ですか？

司 会 : 試験種ごとに。

合格者W : 試験種ごと？(笑) 私本当に参考にならなくて、申し訳ないんですけど、このくらいでも受かるんだっていうのは参考になるかなって思うんですけど、国家I種は、20ちょっとくらいで、東京都も半分ちょっと、20ちょっとくらいで、家裁に関しては15点くらいしか取れてなくて・・・

司 会 : それでも何とか合格できたということですね？

合格者W : そうですね。その分、私の場合は専門で得点を稼いだという感じなんです。院を受けるときに、私の院は万遍なく心理学の領域から記述の問題がでる大学院だったので、かなり幅広い範囲用語を作っていて、ルーズリーフ二冊分の用語を作っていたという状態があったので、それを元に直前期になってひたすら暗記をして教養は低かったけれども、おそらく専門記述は結構出来がよかったのでカバーできてたんじゃないかなって風に思います。

司 会 : Wさんは一度民間企業に就職されたんですね？大学卒業後、再び大学院に入学されてます。一年間でしたっけ？二年間でしたっけ？・・・お勤めになっていた期間は。

合格者W : 一年半くらいです。

司 会 : その後、大学院を受験なさって大学院は心理系大学院に入られたんですね。学部のところも心理系ですか？

合格者W : はい。

受験生A : 心理職っていうとなかなか併願する先が少なくて、難しいと思うんですけど、みなさん、どういった併願をしたんでしょうか？

合格者M : 私は心理職にこだわっていたので、国家I種と家裁と東京都と、あと川崎市を受けました。それ以外は受けてない、4つです。あとは受けてないです。

合格者T : 私も一番最初に国I心理職を受けて、警視庁の心理を受けて、あとは大学法人と、法務教官と地元の市役所を受けました。

司 会 : 家裁調査官は受けなかったんですか？

合格者T : あ、受けました (笑)

司 会 : Wさんはどういった試験種を併願なさいましたか？

合格者W : 私もMさんと同じで、国Iと、家裁と、東京都と、川崎市を受けました。

受験生A : だいたい4箇所~5箇所?っていう感じですか？

合格者M : そうですね。平均的にどうかちょっとわからないですけど・・・

司 会 : 専門科目の心理学を使うところはそのくらいですよ？併願先としては、一般に4~5くらいが多いですね。あとは教養のみの大学法人とか、市役所とか。

受験生B : ちょっと偏った質問になってしまうんですけど、私も今大学院にいるので、と特にお二方にお聞きしたいんですけど、修士論文と公務員試験の勉強とで傾け方というかどのように両立されたのかなって言うのをお聞きしたいんですが。

合格者M : すごい参考にしちゃいけない回答なんですけど、私は春から夏にかけては何もやってないです。修士論文は何も手をつけてないです。テーマだけ一応春までに絞っておいて、夏以降取り組んだって感じですね。何やるかにもよるんだと思うんですけど、先生と相談、私は指導教官と相談して、じゃあそっちを優先したほうがいいからってその先生は言ってくださったので、それなりのものを出してるつもりではありましたが、どのくらいまじめにやりたいかっていうのにもよるのかなってちょっと思うんですけど、とりあえず春から夏にかけては手をつけてなくて、それまでにテーマはとりあえず絞っておこうかな、どこのフィールドにしようかなとかくらいは絞っていたんですけど、実際にはフィールドに入っては4月からやっているんですけど、書くとかインタビューをとるとかっていうことは、やってないですね。

受験生B : でも今、私はもう2年なんで・・・

合格者M : ああ~!!

受験生B : そのときの状況だと、どっちも迫ってきている状態なんだけど、そのどっちがどのくらいの時期にやってとかいうのはありますか？

司 会 : 今M2なんですか？彼女たちはM1のときからやっていたので・・・

合格者W : 私もM1 のときから・・・

司 会 : MさんとWさんは、M2 の春から夏にかけて試験を受けたことになります。

受験生B : 修士論文の準備とかぶってる時期はないですか？

司 会 : 公務員の直前期には、大学院の研究はいったん中断しましたか？

合格者M : 私は、直前期は中断しました。

合格者W : 私は、研究の厳しい、指導にも力が入っている大学院なので、ちょっと自分としてはそれが荷が重くて、研究に関して二週に一回構想を発表しなくてはならなかったりとか、あと先生たちの前でパワポで、修論指導会で指導を受けたりとかしなくてはならなくて、そういったことの準備が結構5月とか6月とかの時期とかも有って、結構負担でしたね。

司 会 : どうやって乗り越えましたか？

合格者W : そうですね。その発表のある直前に、ガーっと修論の構想を適当に、「とりあえず発表できればいいや」っていう形で、発表して、その場を乗り切れれば「また終わってからちゃんと練っていけばいいや」って思っていたので、その場を乗り切るだけに・・・修論はあんまり・・・。

合格者M : そうだよな (笑)

合格者W : あんまり深く考え込むとか、考えてみたりとか、そういったことは極力・・・

受験生B : その～、大学院っていうだけで受験の際に、マイナスに見られるとかっていうことは？

合格者M : それはないです。

受験生B : はい。ありがとうございました。

司 会 : 失礼ですけど、Wさん年齢を聞かせてもらってもよろしいですか？

合格者W : 私は今 27 です。大学院に入ったのが、民間企業に入ってからですから、25 歳くらい？

司 会 : 結局、年齢制限に引っかからなければ、年齢もそれほどネックにならないということですね？

受験生C : あの、公務員試験は受験科目が結構多いんですけど、今の時期に結構力を入れておいたほうがよい科目は何ですか？

合格者M : 私は、さっきも言ったんですけど、数的がとりあえずとにかく苦手だったんですけど、なんかできそうでできない感じが、はまっちゃった感じもあるんですけど、なんとかできるかなって思ったのでとりあえず年内までにはって思ってやっていました。あとは、小論文と国語系のやつ、文章理解の三本立てかなっていう感じで細かいやつはあんまやってないです。

司 会 : 数的は得意になりました？

合格者M：得意になりました。結構。

司 会：なりました？！

合格者M：結構、なりました。得意に。

司 会：本番では大体何割くらいとれました？

合格者M：結構とれた・・・あ、東京都はちょっと癖があってあんまり取れなかったですが、国一とかは結構取れたかな・・・2題くらい落とすくらいかなっていう感じかなと。でも、ほとんどそれで点数がいっちゃうっていうのがおいしいところで、数的ができると・・・っていうのがあったので。

司 会：数的攻略のためのコツというか、日々どういう勉強をして？

合格者M：私本当に一問とくのに3時間とかかかっちゃうくらいの勢いで最初といて、効率悪かったんですけど、でもそれでも自分で答えを出すところまではやろうかなと思って。徐々に、スピードを上げる感じで。とにかくやったっていう感じですね。問題をやったっていう感じはありますね・・・何問かやるとちょっとパターンっていうのが、あるような・・・。

司 会：Tさんはどうでした？数的に関して。

合格者T：本当にできなくて、それが一番足を引っ張っちゃってて、本当に直前になるまで、ほとんど解けるのが（なくて）・・・本当に解けなくて、模試をやっても数的ばかり足を引っ張っちゃってる感じがして、直前で何とか少し取れるようになったかなっていう感じだったんですけど。やっぱり私は、秋ごろは心理学と、数的処理と、あとは理系の教養科目・・・物理とか、化学とか地学とかは、結構やり方だけ覚えて問題を解いていけば結構とけるのが多いと思うので、その点を取れそうなところで、ちょっと（点を）稼ぐといますか、そういうところに力を入れて、あとは日本史とか人文科学系は、ちょっと量も多いので、大学受験のときに使った日本史以外は、ちょっと正直すてて、もうやらなくて、あ、あと思想ですね。人文科学は思想を中心にやって、大学受験のときの知識を日本史の知識を、ちょっと引っ張ってきてっていう感じですね。あとはやっぱり社会科学とかのウェイトが大きいので、政治経済とかの問題は解くようにしていました。

司 会：Wさんは？

合格者W：私は、数的処理に関しては、もう本当に苦手だったので、私も過去問フォーカスを二回は最低はしたんですけど、それでも全然できるようにならなくて、いつも解ける問題は大体決まっていて、いつも解けない問題はいつも解けない。ていうので多分ちょっと能力の限界というか（笑）そういうのがあったので、やっぱりそこで取れない分はほかの科目で、カバーしなきゃいけないっていう風に思っていて、でそういった意味で苦手だった暗記すればできるもの、覚えれば、理解すればできるものを中心に生物だとか、社会科学だとかをやっ

て、あとは文章理解はもともと得意だったので、あまりやらなかったんですけど。そういった自分が確実に点数を取っていきそうな科目から、勉強を始めていったという形ですね。でも最後のほうは本当に時間がなくて、化学とか物理とかそういうものは手をつけていない。

司 会：Tさん。自然科学はどうしました？

合格者T：自然科学は、もともと生物とか好きで、覚えれば結構取れちゃったので、生物と地学系ですね。地学と・・・それから、化学をちょっとかじってみたんですけど、化学はもうわからなかったのやめといて物理も先生の説明聞いて理解できたところは問題解いて、まあなんとなくできるようにしてっていうので。多分みんな捨てちゃう人多いと思うので、まあそこでとるのもありかなと思います。

司 会：Mさん、自然科学はどうしてましたか？

合格者M：私は年明けに。年が明けるまではあまり細かい内容はやってなかったんですけど、年明けに地学と生物を一応見たっていう感じで、でも得点源になったかっていうとそうでもないかもしれないんですけど（笑）。得点源になったかなって思ったのは思想で、本当に直前にしかやってないんですけど、思想とあと政治経済かな。政治経済は（政治は）別に問題を買ったりしてやって、経済のほうはグラフのやつとか見ればわかる問題とかたまーにでるんで、そういう落としちゃいけない系の問題っていうのを拾う・・・それで点数拾えたかなっていう感じですね。

司 会：聞いてみると数的処理が得意になったっていうのは合格者Mさんだけですね？
（一同笑）

合格者M：得意というか、あれでほとんど取れるというところがあるので他が結構おろそかだったような気がするっちゃするんですけど。

司 会：かなりの時間さきました？数的処理に。

合格者M：や、あ、でも結構さいと思います。数的と文章理解には。年内は、それで私心理学は、あんまり院試がやっぱりあった、心理学の知識があったっていうのがあったので復習くらいで年が明けるまではとりあえずそれをやったっていう感じはあります（笑）

司 会：数的処理の学習はどのようなペースでやってました？毎日少しずつやるとか。まとめてやるとか。

合格者M：平日はちょっと忙しくてあんまりブースに来られたりできなくて実習とかあるのでこられなくて土日ですね。土日に最初は本当に10月からだったんで、もう最初から全然たまってる感じだったので、土日に・・・でも2本も見れないので、数的2本は見れないので、1本ずつ片付けたっていうかんじですかね。土日に一本ずつみて、その日はそれしかもうやらないというか（笑）みて、問

題をやって・・・本当にできなかつたんですけど最初、みて問題をやって、とにかく一問に3時間とかかかるんで、それで、一日終わっちゃったみたいな日とかが続いたりとか。たまに文章理解とかでちょっと癒されて、できるから癒されるみたいな。

司 会：直前の時期ってどんな感じでやってました？

合格者M：数的は、直前はあんまりやってなかった。とりあえず毎日1問か2問は解いていたんですけど、あと直前に、教養は全部通しで解いたほうがいいって先生がおっしゃってたので、クレアールにある過去問をもってきて、でも一回やると本当に三時間とかかっちゃうんですけど、制限時間が3時間ですので、教養の試験をバーって通しで解いてて、それで数的が入ってるからやってた感じ。

司 会：なるほどね。Aさん、もっとたくさん聞きたい事あると思うのですが、どうぞ。

受験生A：数的なんですけど、私も数的すごいちよと苦手で・・・問題を解くって言うのはフォーカスを繰り返し解くって言うことですか？今もう授業が終わって数的答練とかどンドン、このあと2時からもあるんですけど、家で今それを復習したりとかもできるんですけど、それやったりフォーカスやったり・・・今フォーカス3順目をやっているんですけど、そんな感じで、あるものを繰り返しやるってかんじですか？

合格者M：なんか私はそのやり方はあんまりやらなかった気がするんですけど、得意な友達が言ってたのは、とりあえず教科書にある例題は解けるように、自分で解けるようになって、そこにこだわってやったっていう子がいて、そのやり方の応用でフォーカスをやるってかんじだったのかなっていう感じなんですけど、でもとりあえず教科書の例題をとりあえずは解けるように、自分で解けるように～かなとは思うんですけど。

司 会：数的推理の問題には、解法1とか2とかあるじゃないですか。要するにテクニックを使って解くパターンと、本当に数式をたてて解くパターンってありますよね。どっちを使うことが多かったですか？

合格者M：数的推理ってなんでしたっけ？（笑）・・・あ、あの方程式の？！

司 会：そう、天秤算を使ってやるようなパターンとか・・・

合格者M：ああ、天秤算！！は、簡単なので天秤算とか使ってやってみました。

司 会：方程式を立てて解くのではなく？

合格者M：最初は方程式を立ててやっていたんですけど、あの3時間とかかけてやっていたところは方程式を一からたててやってみたんですけど、なんか意外に答えも合わないし、解けないので天秤算とか使えるなら使っちゃったほうが・・・あれはやり方だけなので簡単・・・解けるものからやって解けたら喜ぶみたいな。

司 会：やっぱりそういうテクニックを身に着けるのが先決ですかね？

合格者M：ですかね・・・あの～、ものによると思うんですけど、数的推理とかは結構慣

れとかだと思うので、結構あれパターンがある気がするんですけど何回か、何個かやってるうちに・・・表かくやつですよ。なんか面倒くさがらずに表を書くとかも結構大事とかだと思うんですけど、時間かかってもいいからとりあえず表をかくと。あとは確実に解ける問題を作っておくのがよいのではないかと、数的処理は。これはできないけど、これなら解けるぞっていうのはあったほうがいいのかもしいかな。全部できなくても。私はちなみに資料解釈は捨ててました。

司 会：あれ？、でも資料解釈は努力すればできるって言われてませんか？

合格者M：あ～、なんかでも私あれ嫌いなんで（笑）あの膨大な資料見るだけでいやになる感じの・・・タイプなんで。あれはでもできるらしいのでやったほうがいいのかもしれないです。

司 会：むしろ空間のほうが苦手って言う人が多いですけど。空間図形が出た場合・・・どうですか？

合格者M：あんまり得意じゃなかった気がするんですけど、私、あの正方形がいっぱい・・・小さい正方形がいっぱいある問題があるじゃないですか。あれはなんかできるんで、あれは取れたほうがいいのかもしいかなとか、とりあえずその分野の中でも、これは簡単だぞとかこれはもうやめようみたいなのか、これはもうやっても無駄だみたいなのかいろいろわけると・・・いいのかもしれないですね。

司 会：では受験生Dさん。何か質問ありませんか？

受験生D：あの～面接の、二つ伺いたいことがあるんですけど、私とてつもなく覚えられなくて本当にもう馬鹿じゃないのって言うくらい覚えられないんですけど、どうやればこう暗記系ってできるようになるんですか？なんか心理学も好きはずなのに、入らないんですよ。で、ああ、きいたことあるなとかいうのはなんとなく、この人こんなことかなとか思っていると実はぜんぜん違ってたり・・・とかもう歴史は本当に・・・とんでもなかったりとかするんですけど暗記をどうやればいいのか・・・？

司 会：暗記系で勝負した、合格者Wさん。お願いします。

合格者W：そうですね、心理学に関しては私はひたすら手を動かすっていうのをやりました。ボールペン、あの無印で「落書き帳」っていうのが売ってるんですけどそれをボールペンで、ひたすら用語のタイトルだけ・・・私は用語をルーブリーフの最初の5行くらいでこう、線をひいて左側にたとえば「ベラント条件づけ」(?)って書いて、その用語を200～300字で、こう用語をバーッと説明したものを作ったんですけど、でその用語の名前のところだけを見て、書かなきゃいけないタームっていうのがあるんですよ。重要な順に、そういうものだけをイメージしてそれを文章でつなげて書くっていうのをひたすらやって、ボールペンは多分私直前期しか心理の用語を書くのやってないんですけど、替え

ボールペンを使うくらいひたすら書くっていうのをやっていたので、頭で考えるだけだと、たとえば緊張しやすい人とかだと、ぱって、こう飛んじやったりしやすい感じになるけど体でこうある程度覚えていると、緊張した中でもある程度かけたりもするので結構私は書いて覚える、暗記するっていうタイプでしたね。

司 会 : Tさんは?

合格者T : 私も同じでその用語集を使って、あの自分で作ってとりあえず書いて、心理学は覚えるようにしてあとは、教養科目とかは、暗記科目はひたすら問題を解いちゃって、教科書とか読んじゃうと時間かかっちゃうんで、もう引っかけやすいポイントって絶対あると思うんですよ。で問題を見ながらそのポイントで解説見ながら、あ、ここ違うとか、問題といて問題文覚えるみたいな感じでやってみました。そのほうがなんか効率いいかなって思って。ひたすら問題をといてで、繰り返し解いていくっていう感じでした。

司 会 : もう一点は?

受験生D : えっと、すごい緊張しやすくて面接が今から恐ろしいんですけど、まずそこまできけるのかっていう話なんですけど、本当にこわくってしかも圧迫面接がよく伺うので、法務教官も調査官も・・・多分クレアールで何回も面接対策やってっていうのとかで、なんか乗り越えたとかっていうのとかありますか? 圧迫面接なんですか? こわいんですか?

合格者W : 圧迫っていう感じでもなかったですね。こう淡々と面接カードの内容に関して聞く・・・ま、国Iの場合は、あのどちらかという面接カードに書いたところの表層をさらっとこういろいろ聞かれていくっていう形の面接だったんですけど、私のときは。家裁のときは、その書いていった面接カードに対して結構深く掘り下げられる、という形の面接だったのでその書いた内容が自分で、その書いた内容以外にも具体的に説明できないと言葉に詰まっちゃったりとか、こういろいろ答えられなくてあがっちゃったりとか、してしまうと思うのでその書く内容がちゃんと自分で、いろんな角度から突っ込まれても、答えられるような内容だとか自分の体験に基づいたこととかを書いたらいいんじゃないかなと思うんですけど・・・緊張しますよね～。

受験生D : たとえばどんな風に突っ込まれるんですか?

合格者W : 突っ込まれたっていうよりは、掘り下げられる、たとえば私は結構アルバイトの経験を書いた箇所があったんですけどそのアルバイトの経験でお客さまとの対応で苦労したことはみたいな内容をかいてたんですね。そしたらそのことについて詳しく話してくださいってまず言われて、でちょっとくだらない話だったのであまり話したくなかったんですけどなんかお店の中でガムがついたんだけどっていう因縁をつけられたっていう話をそこでして、そしたらそのとき

にあなたはどう対応したんですかって言うことを聞かれたりとか、あとそのときに、正直その人に対してどういう感情を抱きましたかとか、当然上司とか店長さんなりにそのことを報告したかと思うんですけど、そのことについて店長さんからなんて言われましたかとか、そういった形でその話題について掘り下げる。

司 会：Mさんはいかがでした？

合格者M：や、面接官によるかもしれない。あんまり攻撃的じゃない・・・突っ込んでくる人はいなかったんですけど、地方で受けた人の話を聞いたら圧迫だったっていう子もいたので、家裁の面接が圧迫だったっていう子いたんですけど、東京で受けた人でそういうことはあまり聞いてないんですけど。私は、引きこもり支援をしてみたいなのを書いたらいきなり開口一番そういう人の家族にはどういうアプローチをしますかっていうことを聞かれて、えって思ったんですけど・・・っていうのはありますけど、でもなんか基本的には、なんか深い体験みたいなのが聞きたい感じ。どうやって自分が成長したかみたいなのを聞きたい感じがあって、だからこういう経験をしましたよかったですじゃなくて、こういう経験をして自分はどう考えてどう成長したかっていうところまで考えてくと割りといいしそれを突っ込んでくれるように面接カード書ければいいんじゃないかなって思います。捕らえようの問題なので、ある体験をどう捕らえるかなので、アルバイトの話でもいいし、ボランティアとかやっていると結構好感度高いけど別にそういう話じゃなくても、えらいことしてなくても、ゼミの話でも多分いいんだと思う。表面上の話は。でもそこからどう成長したかみたいなストーリーが割りと聞きたい感じは（笑）ある。どの面接を受けてても、多分あるかなって。思いますね。

受験生D：性格とかがって聞かれましたか？

合格者W：性格っていうことでもない・・・性格なのかなあ？あなたがたとえばこう、この一週間でやらなければならない仕事があったときにあなたは一週間ぶっ通しで仕事をするタイプですか？それとも一日休みを入れて仕事をするタイプですかとか結構オープンな感じの質問を結構されてどっちを答えるかっていうのもいくつかされたような気がします。

受験生D：それは正直に答えていいんですか？

合格者W：私は正直に答えました。それに理由もつけました。私も最初の面接のときは、最初国Iだったんですけど、すごい緊張してというか私はそもそも国Iだと家裁に受かるとも思っていなかったのもまったくそういう対策をしてなかったんですね。直前まで。本当にうかってから、面接カードが送られてきてから面接の本を買って、あ、国Iのときは用意してなかったんですけど、いって面接したんですけど、なんか国Iの仕事って結構なんかこう夜中までやったりとか

終電後もしごとしたりとかするような人たちが、いらっしゃるのに私は職歴があるので、あなたは職歴がありますけれどもそのときに一番苦労したことはなんですかって言うことを聞かれてどうしようと思って、とっさに思いついたのが、繁忙期にお昼休みを取る暇もなく仕事をしたのがすごい大変でしたみたいなことをいっちゃって、国Iなんてみんなそうやって夜中とかやってるのに、もうこの時点で適性ないようなこといったようなもので、まあやっちゃって、でもそれでも何とか受かっていたので、小さな失敗は許されるんだと思うんですけども、前もって練習できればそういうことにも・・・私は面接を受けて初めてこうって失敗したなって気づけたので事前に面接の練習をしておくとかすぐちよっところ、口走りにくくなるのかなっていう気もします。

受験生D：顔が赤くなっちゃうとかってというのは、今も赤くなってるかわからないんですけど、すごい真っ赤になっちゃうんですよ。すごい真っ赤になっちゃってもう大変なくらい、茹蛸のようになってしまうんですけど、やっぱり結構それをマイナスに見られるっていうのをきいて・・・そんなことないですか？

合格者T：私もすごく緊張しやすくて、でもう多分見た瞬間に緊張してるってわかったんだと思ったんですけど、その法務教官の面接のときに緊張しなくていいですからって言われて、あきらか本当に緊張しない人っていないと思うし、それはしょうがないと思うのである程度自分で準備とかをしてどれだけ聞かれたことにちゃんと答えられるか、一生懸命答えられてるかっていうところを見られてると思うので、そういうの緊張することって悪くないと思うし赤くなっても別に大丈夫だと思いますよ。

合格者M：むしろ多分普段の様子が知りたいからっていう風に最初から断られるとおもいます。普段の様子を見せてくださいとかいわれると多分無理なんですけど（笑）絶対どの試験受けても、緊張しないで普段の様子を見せてくださいっていわれて。

合格者T：法務教官の場合は本当に圧迫ではなくて、本当に優しい感じで最初に緊張をほぐしてくださるような感じで、もう全然あなたの言葉で答えてくださいって言われたので自分で一生懸命、質問に対して答えて、ちょっと詰まっちゃったりとかしても「ちょっと考えさせてください」って言って・・・詰まっちゃって「やっちゃったな」と思ったんですけど、それでも通ったんで、大丈夫だと思います。

合格者W：あと参考になるかわからないんですけど、人それぞれ違うので私は趣味とか特技の欄に結構自分の、本当に普段映画鑑賞とか、いわゆる履歴書に書くような内容じゃなくて本当に自分が普段やって好きなこととか私は食べ歩きが好きでちょうどそのときはたいやきの食べ歩きにはまって、そういうのを書いてたんですね。そういうところに突っ込んでもらうと、すごい緊張がほぐれて自分

の好きなことなので、すごく楽しく話せて、普段の自分が出せたんですね。なのであんまり飾り過ぎないって言うかその文面の上でも、そういったことも大事なのかなって思います。

合格者T : 私、気になったニュースの欄に、蜂がいなくなってるっていうのが気になりますって書きました、本当素で。そういうのも突っ込んでもらって、何で気になったのっていわれてこういうふうの一つのことがいろんなことにつながるからだと思いますみたいなこと言ったら、ああそういう風なんだって・・・そういう自分の興味の持ってることとかに突っ込んでもらって何に興味もってるかとかどういう風に考えてるかを見てると思うので、そこですよ。

受験生C : 皆さんは民間はまったくですか？まったく併願せず？

合格者M : 受けてないです。まったく参考にならず・・・

合格者T : 私はちょっと受けました。

受験生C : じゃあ、ちょっと話が戻るんですけども、小論文の話なんですけれども、僕も小論文苦手で、合格者Mさんが数的と小論文っておっしゃいましたよね？小論文っていうのは教養の論述ですよ。どういうふうに対策していききましたか？

合格者M : えっと、とりあえず授業に出て、苦手でもとりあえず書いて出したっていうところかな。人に見てもらわないとちょっとわからない、自分の癖とかもわからないし、何が悪いのかも書いててぜんぜんわからないよね。なのでとりあえずぼろくそ返ってきてもいいやって思って時間内にとりあえずといて出して、私もビデオで見てたので、あれだったんですけど、時間内において添削に出したっていう・・・で返ってきたのみなから、そっか、って思いながら次また気をつけて書いて感じですね。取り合えず書いて見てもらったほうがいいと思います。

受験生C : でそのまま本番をむかえるという形ですか？

合格者M : そうですね、大体たぶん時事問題がわかってるかって言う話と、あと文章力、わかりやすい文章を書けるかっていう感じで。なんかそんなにすごい文章を書かなきゃならないって言う感じではない、なんかこう表彰されるような文章書かなきゃならないって言うことじゃないので、とりあえず読んでわかる文章をかくことと、その問題をちゃんとわかってるかっていうことが問われているんだと思うので、その問題がわかってるかっていうのは、ちゃんと解説してくれるので、だいたいなんだか子育てとかテーマがいくつかあって、その試験の中からどの試験も出るって言う感じがあったので、そういう時事問題系に興味を持っているといいのかなとおもうんですけど、すごいものを書こうとしなくていいとおもうし、それも結構パターンっていうか定石みたいなものがあるん

だよ。こういう結論に導くといいたいものがあるので、わかりやすい文章書けるかどうかたぶん重要なので添削してもらって、文章の書き方見てもらうって感じ、の構えでいたほうがいいかなって思います。どうしてもできなかったらもう添削以外にもスタッフに頼んでわがままを言ったほうがいいのかと思うので見てもらったらいいんじゃないかなって思います。

受験生C : その時事のネタ集めっていうののためになにか特別なことはしたんですか？

合格者M : いや、特別なことはしてないです。私はあんまりしてないです。少なくとも。

受験生C : まだ小論の授業が始まってないんですけど、もう少しで始まるんですけど、授業のなかで時事を出していってくれるってということですか？

合格者T : 根岸先生がすごくいっぱいしゃべってくれるので、メモればいと思います。ひたすら雑談のところもすごい情報がバーって入っているので、それをすごい拾って頭の片隅に入れておくことだと思います。(頭の) 引き出しにしまっておいて、いざというときにだせるようにバーって詰め込んで、でもだいたいね、先生の話聞くと大体覚えられますよ。結構同じ話何回もするからそれが重要なんだってね。

合格者W : なんかその根岸先生の話で思い出したのが、DVD で受講されてる方ですか？ライブですか？あのあんまちょっと参考にならないんですけど、私は結構遠い所から土日にここに出てきてたので・・・あの、DVD が MP3 に落とせるんですよ。で、1.5 倍速で落として移動の途中で根岸先生の授業をひたすら聞いてるって言うのをやってて、社会科学？苦手だったので。

合格者T : 1.5 倍ですか？

合格者W : 1.5 倍で。

合格者T : 聞けるけどちょっとつらくないですか？聞いて流すだけ？

合格者W : バーって聞いて・・・。一回授業を聞いてるから、そのあとにそれをひたすら結構ずっと聞いてるって言うのをやってて、根岸先生の声に結構お世話になったんですけど。

合格者T : 私はあえて、根岸先生の授業は DVD で見てました。止められるので、確認しながらじゃないとメモが追いつかなくて・・・だから根岸先生のは、逆に、ライブでも言ってたんですけど、社会科学系のやつは自分が本当に追いつかないので止めて止めてを繰り返してて・・・止めてメモして止めてメモしてを繰り返してました。

合格者W : 私も最初はそうだった。ノートみたいなのをちゃんと作って、理解してから聞くって言う感じで。

合格者M : とにかく 1.5 倍にしないほうがいいよね。何にも聞こえない (笑)

合格者T : 1.5 倍は・・・普通のしゃべりが他の先生の 1.5 倍くらいだから、そんな気がするね。

合格者M：ビデオで見ようと思って1.5倍にすると大変なことになるので、止めないと聞けない……。3時間以上かかるよね。終わらなくて……。4時間とかかかった。3時間半とか普通。

合格者M：でもかなり内容は濃いから、その分押さえてると……。心理学だとかなり根岸先生の(授業)がたくさんあって、文章理解とかでも時事の話をしてたり他の教科の話をしてたりするから、結構使える……。ああ、こんなこと言ってたなっていうのがあって。

合格者T：そんな感じで解けるのとかが多かったから。

受験生A：なんか時事のために特別こう新聞を読んだりとか、そういうのはしてました？

合格者W：私は結構大学の図書館で勉強してたので結構息がつまったときとか、トイレに立つときとかについて新聞コーナーに言って、いくつもいろんな種類の新聞があるのでそこで見たりとかあとは最初のころは新聞ダイジェストを買ってたんですけど、まあ見ない見ない見ない……。まあ、図書館で見たときのが一番入ってくるかなと思いました。

合格者M：得点源にするなら、やったほうがいいのかなんて思うんですけど、私はなんか結構おろそかだったような気がします。最後にでも時事問題っていうのが2、3回あって、根岸先生の授業が……。そこは結構わかりやすかったかなあ、って思う。そこで時事問題の総ざらいみたいな。一年間の時事問題総ざらいみたいなのをやってくれて、それは割りとわかりやすかったかなって思います。国Iとかだったらそのレベルでいけるんですけど、東京都とか結構こうややこしい時事問題がたくさん出るので普段見てる新聞とかが活きるのはそこかなっていう感じは。

合格者T：対策はでもニュースになったものがすぐ出るわけではないので『速攻の時事』とかあるのを、そういうテキスト見たり根岸先生の授業で聞いたこととかをちょっとメモしておけば大丈夫かなあと思います。

受験生A：東京都と川崎を受けたって言ってて、どっちかには住んでないと思うんですけど、住んでないところを受けに行くときの対策というか、その市を調べて行ったりとか何かしましたか？

合格者M：東京都も川崎市も住んでないんですけど、近くはあるんですけど私面接まで行ってないのでちょっとあれなんですけど、東京都については特にやらなかったんですけど、川崎市は最初に願書の裏に何で川崎市を志望したんですかって言うのを書く欄があって私は一応説明会に行ったんですけど、説明会には行かなくても……。心理の説明をしてくれる人はいないので、でもホームページとか見てなんか力入れてる事業とかが結構出てたりするのでそういうのをちょっと拾って「そういうところが素敵だと思いました」みたいな感じで書いたかなっ

て思いますね。面接は受けてないのであんま参考にならないかもしれないんですけど、ホームページとか見るとこういう「音楽の町」とかいろいろ書いてあるんですよ。なんか「音楽の町川崎」とか書いてあるのでそういうので市民のモチベーション上げてる感じが素敵みたいなこと書いたりした記憶が・・・あります。

受験生A：ありがとうございます。

合格者M：Wさん、なんかやりましたか？

合格者W：私、私もホームページですね。私は、一応東京都民なんですけど一応、でも東京都に関しても一応なんかプランっていうのがあってそれを印刷して結構読んで、こういうところに力入れてるんだっていうのは試験の前にはきちんと把握しているようにしていました。

受験生E：心理学の添削のことについてお聞きしたいんですけど、私も一応心理学を勉強してるんですけど、今ようやく用語のノートまとめとかをしてる段階なんですけど、まだぜんぜん記述とか書ける段階ではなくて、一つの利用語に対して重要な概念とか事件だとかそういうのをノートに書き起こしたりしてる段階なんですけども、それが自分のやり方がいいのか悪いのかとかちょっと自身がなくてそのまま基礎を固めるにはどうすればいいのかっていうのを、まだはじめたばかりなのでそれ向けになにかアドバイスがあれば教えていただきたいんですけど。

合格者M：私は、院を受けたときの話になってしまうんですけど、とりあえず教科書は心理学っていう名前の・・・教科書を2冊用意しました。で、やったところの授業に来た日くらいにその前後くらいに、その章を両方読み比べてって言うことをやって、そしたら情報かぶるところがあれば重要とこなんだろうなっていうのがわかるので、その書き出しとかって言うのをやっていたんですけど、とりあえず私は書き出したら文章にしてみました。文章書いてみましたっていうのをやったかなって思います。最初からは多分うまくいかないですけど、どういう風に書こうみたいなのが・・・

受験生E：字数とかはあまり気にせず？

合格者M：あ、あまり気にしなかったんですけど、とりあえずA4のノートの5行くらいに納まるようにって感じですかね。

合格者T：私は本当に何がなにやらチンプンカンプンの状態だったので、授業でやったことを、概論のテキスト二冊を買って、やったところを読んで、やっぱり重要そうだなっていうキーワードをみて書き出してで、あとはキーワード集って言うのを頂いたので、まあその語句を中心に説明できるように文章をちょっと起こしてみたりだとかはしていました。私は本当に基礎ができていない状態だったので

で、用語を書き出すって言うのから初めてそれがウェイトが大きかったかなと思います。

合格者W：私も大学院受験の時の話になってしまうんですけども、私は最初いくつかの概論書をよんでもどれが一番重要なキーワードなのかって言うのが、たとえば人物とやったことまではわかってもその次に重要なキーワードが何なのかっていうのがよくわからなくて、本当に最初勉強し始めたときはどうやって用語何個かにまとめればいいのかって言うのがわからなかったんですね。で、お二方は2冊くらいっておっしゃっていただんですけども私は概論書とあと、キーワードが載ってるようなやつを広げて、全部その用語について読んで全部に入っているものが重要、あと心理学用語辞典有斐閣の青いやつなんですけど、それを用意して多いものから重要なんだなというのとあと概論書でも書かれてる方によってすごい偏ってるんですね。なので一つのものとか二つのもとか似たようなものだったりするとなんかこっち側の視点がすごい欠けちゃったりしてるので、私は結構万遍なく眺めてそれで用語説明するのもこれが重要なんだって言うのを理解して書くようにはしてました。でも、そこまで時間が取れるかどうか公務員の場合は難しいので・・・

合格者M：特に授業があるからワードは言ってくれるんじゃないかなと。

合格者W：お二方たぶん見られてたって言うことだと思うんですけど、私はここの講座に申し込んだのが教養科目ができるようになるということが目的だったので、心理学の授業は一切見てないです。なのでちょっと参考にはならないんですけど、授業でそういったところを説明していただけるのであれば、それを概論書の説明の仕方参考にしてキーワードを文章の形につなげる、自分の言葉で説明できるような形につなげるっていうことが、重要なのかなって。

合格者M：意外に学校の図書館に概論書が置いてあったりするんで、でも自分で2冊以上は買ったほうがいいと思います。もうちょっと詳しく調べたいと思ったら図書館とかいって調べたりして。

合格者T：でも私も一人で本を積み上げてました。辞書とかも辞書によって書き方が違うので辞書とかキーワード集とかをまったく心理学部とかでもないのに積み上げて読んだりとかしてました。

受験生F：心理学の授業で触れない部分というのがあると思うんですけど、心理学史とか・・・

合格者M：私は、心理学史はやってないです。けど、概論書は持っていたので本は読んでます。本は一応全部読んで、まあ選択肢問題だったら解けるかなくらいにはしてたと思うし、一応自分で概論書は読んで、全部見て全部に出てるような用語って言うのは、大事なかなって。あと結構癖のある問題とか過去問見たりすると、家裁は結構認知に癖があって、認知系の問題が出るので、その辺が・・・

私はでも『試験に出る心理学』でやったかなって感じなんですけど。ちょっともうちょっと広げないと厳しいかなって感じますね。

(司会戻ってくる)

司 会 : では、大体の質問は出きったようですので、全体としてはいったんここでお開きにしましょう。まだ数的処理の答練まで1時間弱くらいありますので、ご飯食べる方はご飯食べて、あと個別に質問したい方は質問してください。

受験生A : 最後に一個だけいいですか？

司 会 : はい、どうぞ。

受験生A : 国立大学法人を、表現悪いですけど、滑り止めとして受ける人が多い感じなんですけど、国立大学法人の過去問は、公表されてなくて、なのでどれくらいのものなのかっていうのがいつも気になっているんですけど。

合格者M : あれ、売ってる？確か実務出版から対策用のものが出てくると思うので。

司 会 : そうですね。持ち帰りはできないので、完全な形での再現はないですが。

合格者M : 持ち帰りはできないですけど、結構、ほとんど何年度はこんな感じみたいなので、何年度の問題みたいなので・・・。

司 会 : 受けた感じ、問題のレベルはどうでしたか？

合格者M : レベルは私はちょっと難しめかなと思ったんですけど、人によって感じ方が違うので・・・私はちょっと難しめかなと思ったんですけど、ほかの友達に聞いたらそんなに難しくなかったよとか言われちゃったのでどうなのかな・・・。

司 会 : 40問必答というスタイルはどうですか？

合格者M : 2時間でしたよね？

司 会 : 短かったですか？

合格者M : 必答で全部解いてっていう形なので、多分でも、教養だけなのでやっぱりボーダーも上がるのかなと思います。

受験生A : はい、ありがとうございました。

司 会 : はい、では全体としてはここでいったんお開きにしまして、あと個別にこういうこと聞きたいってことを、遠慮なく質問してください。では、本日はどうもお三方ありがとうございました。もうこの部屋は2時以降使いませんのでそのままにしててください。

(解散後個別質問にて)

- ・ 大学との両立
- ・ 試験問題の傾向
- ・ 生活リズム

(という内容の質問に対して)

- 国一の問題は偏りがない
- 学校に行った日は、これをやるとか決めてそれをやってってやって、あんまり直前になるとあせるとおもうから。月ごと、週ごとに目標を決めるといいと思う。